

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月11日

上場会社名 セーラー広告株式会社
 コード番号 2156 URL <http://www.saylor.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植村 貴好
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長 (氏名) 山内 務
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 JQ

TEL 087-825-1156

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	2,297	—	△25	—	△16	—	△11	—
20年3月期第1四半期	2,497	—	31	—	16	—	1	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第1四半期	△1.95		—	
20年3月期第1四半期	0.18		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年3月期第1四半期	4,744		1,847		38.9		303.79	
20年3月期	4,934		1,886		38.2		310.44	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 1,846百万円 20年3月期 1,886百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

配当の内訳 平成20年3月期 : 普通配当3円25銭 記念配当6円75銭 平成21年3月期 : 普通配当4円00銭

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期連結累計期間	4,842	△5.5	6	△93.1	17	△79.3	2	△92.3	0.40	
通期	10,467	2.1	199	△1.2	221	7.5	113	37.5	18.69	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 1社(社名 アド・セイル株式会社) 除外 1社(社名)

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 6,078,000株 20年3月期 6,078,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 680株 20年3月期 1株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 6,077,395株 20年3月期第1四半期 5,216,274株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当期における業績の概要および事業部門の業績

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、原油や原材料の価格高騰に伴う物価上昇等によって景気減速傾向が一層強まりました。当社グループ商勢圏におきましても、景気は依然厳しく、各企業とも物価上昇を販売価格に反映できず、先行きに不安を抱える状況となりました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、顧客対応の迅速化および出版とネットの融合化、ならびに子会社設立によるインターネット関連広告の提案力強化等を図り、各企業の販売促進活動へ積極的に関与し、広告および出版事業をとおした地域活性化に取り組んでまいりました。

その結果、広告業および出版業ともに景気減速に伴う広告主の広告費削減の影響を反映し、当第1四半期連結会計期間における当社グループ全体の経営成績は、売上高2,297百万円、営業損失25百万円、経常損失16百万円、四半期純損失11百万円となりました。

○広告業

広告業におきましては、広告主の広告費用対効果への関心の高さに対応すべく、費用対効果の最大化が図れるクロスメディア企画提案力の強化に努め、広告主の多種多様な要望にお応えするとともに積極的な提案活動を行いました。さらに、当社は、平成20年4月1日設立の子会社アド・セイル株式会社との連携を図り、地元企業に対するインターネット関連広告の提案力強化に努めました。

こうした取り組みの結果、当第1四半期における売上高は2,185百万円となりました。また、アド・セイル株式会社が設立から間もないこともあり、広告業における営業損失は4百万円となりました。

○出版業

出版業におきましては、情報発信源の多様化や若年層の活字離れが進むなか、月刊誌の年次別あるいはライフスタイル別特集記事の拡充に努めるほか、自社サイトにおける「とくしまMAP」、「かがわMAP」、「建てようネット」および「タウンSNS」等のインターネット・コンテンツを利用したクロスメディア企画力の強化に努め、出版とネットの融合化を図りました。

その結果、当第1四半期において地元商店等の情報誌への広告費削減があり、売上高は119百万円、営業損失は21百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は4,744百万円となり、前連結会計年度末に比べ190百万円の減少となりました。

資産の部では、営業活動の結果に伴う受取手形および売掛金の減少を主な要因として、流動資産が前連結会計年度末に比べ235百万円減少し、2,344百万円となりました。また、リース取引に関する会計基準等の適用によりリース資産を計上したため、固定資産は、前連結会計年度末に比べ44百万円増加し、2,399百万円となりました。

負債の部では、営業活動の結果に伴う支払手形および買掛金の減少を主な要因として、流動負債が前連結会計年度末に比べ109百万円減少し、1,955百万円となりました。また、固定負債は、長期借入金の返済による減少等により前連結会計年度末に比べ42百万円減少し、940百万円となりました。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ39百万円減少し、1,847百万円となりました。これ

は主に期末配当金の支払によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ34百万円減少し、451百万円となりました。

営業活動の結果使用した資金は前連結会計年度末に比べ126百万円増加し、105百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失12百万円、役員退職慰労引当金の減少額32百万円、仕入債務の減少額241百万円、法人税等の支払額28百万円等によるものであります。

投資活動の結果得られた資金は前連結会計年度末に比べ84百万円増加し、24百万円となりました。これは主に、投資不動産賃貸による収入額14百万円等によるものであります。

財務活動の結果得られた資金は前連結会計年度末に比べ176百万円増加し、46百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加額121百万円、長期借入金の返済による支出額43百万円、配当金の支払額30百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の当社グループ経営成績におきましては、景気減速に伴う広告主の広告費削減の影響が大きく、前年実績を下回っています。当社グループの平成21年3月期の業績予想につきましては、こうした市況を踏まえ、第2四半期連結累計期間におきましては、売上高4,842百万円、営業利益6百万円、経常利益17百万円、当期純利益2百万円を見込んでおり、平成20年5月13日に発表いたしました「平成20年3月期決算短信」において記載しております「平成21年3月期の連結業績予想」から変更はありません。

なお、平成21年3月期通期の業績予想につきましては、売上高10,467百万円、営業利益199百万円、経常利益221百万円、当期純利益113百万円を見込んでおります。

上記業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間より、アド・セール株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。ただし、同社は特定子会社には該当いたしません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

影響額の僅少なものにつき、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成5年6月17日最終改正平成19年3月30日企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会平成6年1月18日最終改正平成19年3月30日企業会計基準適用指針第16号)を当第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価格をゼロとする定額法によっております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	755,579	798,478
受取手形及び売掛金	1,435,277	1,641,075
商品	34,075	36,577
仕掛品	12,898	15,348
その他	111,089	93,562
貸倒引当金	△4,430	△5,085
流動資産合計	2,344,490	2,579,956
固定資産		
有形固定資産		
土地	723,594	723,594
その他(純額)	447,212	429,593
有形固定資産合計	1,170,807	1,153,188
無形固定資産		
投資その他の資産	20,454	20,252
投資不動産(純額)	692,364	694,816
その他	529,578	499,505
貸倒引当金	△13,621	△12,721
投資その他の資産合計	1,208,321	1,181,600
固定資産合計	2,399,583	2,355,041
資産合計	4,744,073	4,934,998

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,308,304	1,549,814
短期借入金	368,392	250,872
未払法人税等	2,071	31,329
引当金	49,388	89,590
その他の引当金	4,490	7,030
その他	223,347	136,376
流動負債合計	1,955,994	2,065,013
固定負債		
長期借入金	660,850	697,808
退職給付引当金	150,679	146,567
役員退職慰労引当金	64,868	97,355
その他	63,936	41,393
固定負債合計	940,334	983,124
負債合計	2,896,328	3,048,137
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,868	294,868
資本剰余金	195,080	195,080
利益剰余金	1,354,533	1,396,797
自己株式	△123	—
株主資本合計	1,844,359	1,886,747
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,852	113
評価・換算差額等合計	1,852	113
少数株主持分	1,532	—
純資産合計	1,847,744	1,886,860
負債純資産合計	4,744,073	4,934,998

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
売上高	2,297,299
売上原価	1,942,861
売上総利益	354,438
販売費及び一般管理費	
報酬及び給料手当	186,915
賞与引当金繰入額	36,293
退職給付費用	5,831
役員退職慰労引当金繰入額	2,652
貸倒引当金繰入額	712
その他	147,719
販売費及び一般管理費合計	380,124
営業損失(△)	△25,686
営業外収益	
受取利息	282
受取配当金	3,442
投資不動産賃貸料	14,981
その他	1,699
営業外収益合計	20,406
営業外費用	
支払利息	5,952
不動産賃貸費用	5,715
その他	14
営業外費用合計	11,682
経常損失(△)	△16,962
特別利益	
賞与引当金戻入額	6,411
その他	667
特別利益合計	7,078
特別損失	
前期損益修正損	712
保険解約損	1,617
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	200
特別損失合計	2,530
税金等調整前四半期純損失(△)	△12,414
法人税、住民税及び事業税	1,461
法人税等調整額	66
法人税等合計	1,527
少数株主損失(△)	△2,067
四半期純損失(△)	△11,874

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△12,414
減価償却費	13,604
貸倒引当金の増減額(△は減少)	245
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,111
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△32,486
受取利息及び受取配当金	△3,740
不動産賃貸収入	△14,981
支払利息	6,022
売上債権の増減額(△は増加)	205,534
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,398
仕入債務の増減額(△は減少)	△241,510
その他	△3,369
小計	△74,586
利息及び配当金の受取額	3,628
利息の支払額	△6,462
法人税等の支払額	△28,533
その他の支出	△12
営業活動によるキャッシュ・フロー	△105,966
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△18,400
定期預金の払戻による収入	26,800
有形固定資産の取得による支出	△5,976
投資有価証券の取得による支出	△1,745
保険積立金の積立による支出	△2,956
投資不動産の賃貸による収入	14,994
その他	12,110
投資活動によるキャッシュ・フロー	24,826
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	121,000
長期借入れによる収入	3,200
長期借入金の返済による支出	△43,638
自己株式の取得による支出	△123
リース債務の返済による支出	△3,407
配当金の支払額	△30,390
財務活動によるキャッシュ・フロー	46,641
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△34,498
現金及び現金同等物の期首残高	485,684
現金及び現金同等物の四半期末残高	451,186

注記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	広告業 (百万円)	出版業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,184	112	2,297	—	2,297
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	7	8	△8	—
計	2,185	119	2,305	△8	2,297
営業利益(又は営業損失)	△4	△21	△26	0	△25

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

(1) 広告業・・・テレビ・新聞・ラジオ等マス媒体での広告出稿及び広告物の制作

(2) 出版業・・・タウン誌発行

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)
I 売上高	2,497,790
II 売上原価	2,085,579
売上総利益	412,210
III 販売費及び一般管理費	381,048
営業利益	31,162
IV 営業外収益	
1 受取利息	209
2 受取配当金	3,493
3 不動産賃貸収入	14,856
4 その他	7,089
V 営業外費用	
1 支払利息	8,046
2 不動産賃貸費用	5,312
3 その他	26,601
経常利益	16,851
VI 特別利益	
1 貸倒引当金戻入額	1,716
2 その他	98
VII 特別損失	
1 投資有価証券評価損	1
2 その他	—
税金等調整前四半期(当期) 純利益	18,664
法人税、住民税及び 事業税	3,510
法人税等調整額	14,114
四半期(当期)純利益	1,039

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結期間

(単位：千円)

	(平成20年3月期 第1四半期)
区 分	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期(当期)純利益	18,664
減価償却費	10,443
引当金の増減額(減少:△)	△40,605
受取利息及び配当金	△3,702
支払利息	8,046
売上債権の増減額(増加:△)	115,512
たな卸資産の増減額(増加:△)	3,280
仕入債務の増減額(減少:△)	△184,147
その他	△353
小 計	△72,861
利息及び配当金の受取額	3,590
法人税等の支払額	△125,162
利息の支払額	△8,239
割引料の支払額	△155
営業活動によるキャッシュ・フロー	△202,828
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△8,541
投資有価証券の取得による支出	△1,673
保険積立金の積立による支出	△3,111
投資不動産賃貸による収入	15,002
その他	5,739
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,415
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(減少:△)	47,000
長期借入金の返済による支出	△43,968
株式の発行による収入	164,835
配当金の支払額	△16,900
株式交付に係る支出	△629
財務活動によるキャッシュ・フロー	150,337
IV 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△45,075
V 現金及び現金同等物の期首残高	653,724
VI 現金及び現金同等物の期末残高	608,648